

テーマ別パスファインダー



読書の秋・秋を楽しむ文学



✦ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2014年11月4日

大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングコモンズ るくす | LSチーム

I. イントロダクション

＜ 読書の秋・秋を楽しむ文学 とは？

情熱的な夏のあとは、涼風に運ばれてきた金木犀の香りの中で心静かに本を開き、秋を文学で味わおう。秋は古今問わず、作家や文人たちに愛され、吟味されてきた題材の一つである。また、秋はゴンクール賞、ノーベル文学賞など大きな文学賞の発表により、人々に読書の刺激を与えている。ここで取り上げるのは、秋を楽しめる日本文学作品と世界文学作品である。今秋は物語の面白さ、言葉の美しさ、そして文学の世界に潜んでいるもう一人の自分を体験しよう。

関係分野：文学、世界文学、日本文学、古典文学

II. 秋を楽しむ日本文学作品

＜ 清少納言 著；松尾聰，永井和子 校注・訳（1997）『枕草子』小学館

秋は夕暮れ。夕日のさして山の端いと近うなりたるに、烏の、寝どころへ行くとて、三つ四つ、二つ三つなど飛び急ぐさへあはれなり。まいて、雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆるは、いとをかし。日入り果てて、風の音、虫の音など、はた言ふべきにあらず。

【外国図-4 階開架 918||314||18】

＜ 樋口一葉 著；菅聡子，関礼子 校注（2001）『樋口一葉集』岩波書店

母親は聳たてゝ何といふ此娘は不仕合と又一しきり大泣きの雨、くもらぬ月も折から淋しくて、うしろの土手の自然生を弟の亥之が折て来て、瓶にさしたる薄の穂の招く手振りも哀れなる夜なり。（『十三夜』）

【外国図-4 階開架 918||312||明治編 24】

＜ 太宰治 著（1989-1992）『太宰治全集』第3巻 筑摩書房

夏の中に、秋がこっそり隠れて、もはや来ているのであるが、人は、炎熱にだまされて、それを見破ることが出来ぬ。秋は、ずるい悪魔だ。夏のうちに全部、身支度をととのえて、せせら笑ってしゃがんでいる。家の者が、夏をよろこび海へ行こうか、山へ行こうかなど、はしゃいで言っているのを見ると、ふびんに思う。もう秋が夏と一緒に忍び込んで来ているのに。秋は、根強い曲者である。（『ア、秋』）

【総合図-自動書庫 918.6||46||3】

III. 秋を楽しむ世界文学作品・アジア篇

＜ 魯迅 著;竹内好 訳(1955)『野草』岩波書店

彼は小さな桃色の花の夢を知っている、秋の後には春が来るのだ。彼は、落ち葉の夢も知っている、春の後にはやはり秋が来るのだ。(『秋夜』)

【総合図-自動書庫 923||373】

＜ ラビンドラナート・タゴール 著;内山真理子 訳(2008)『迷い鳥たち』未知谷

生は夏の花のように、死は秋の木の葉のように、美しくあらしめよ。

Let life be beautiful like summer flowers and death like autumn leaves.

【外国図-4 階開架 931.7||178】

IV. 秋を楽しむ世界文学作品・欧米篇

＜ スコット・フィッツジェラルド著;村上春樹 訳(2006)『グレート・ギャツビー』中央公論新社

五年前の秋の夜、枯葉の舞い散る中、通りを散歩していた二人は、やがて一本の樹木もない場所に出た。歩道が月光に白く照り輝いている。二人はそこで立ち止まり、お互いに顔を見合わせた。その夜のひんやりとした空気は、なぜか胸騒ぎを覚えさせるような、年に二度訪れる変化のときにおなじみのものだった。

【外国図-4 階開架 933.7||1757】

＜ ヨハン・テオリン 著;三角和代 訳(2011)『黄昏に眠る秋』早川書房

すべてが静寂に包まれて動くものもなかったが、ふいに少年は自分がひとりではないと感じた。霧のなかで物音が聞こえた？振り返った。もう、石壁も牧草地も見えなくなっていた。草原とジュニパーの茂みしか見えない。茂みは少年の前後左右にいくつも静止していて、この茂みは生きていないと一少年と同じ意味では一わかっていたが、どれだけ大きいか考えずにいられなかった。

【外国図-4 階開架 949.83||302】

＜ エリザベス・ボウエン 著 ;太田良子 訳(2005)『幸せな秋の野原』ミネルヴァ書房

彼女の関心の大半は、目の前にあるヘンリエッタの若々しく油断のない顔と瞳が大空に向けて光り輝き、この日の午後の成り行きを問わんとしていることを知り、あふれるばかりに湧き上がってきた愛情にあった。彼女が告別の色を識別し、哀しみの甘さを味わう一方、木々のとばりに囲まれた小屋からは火を炊く煙がたち昇り、あたりに香りをまき散らしながら、青く消えて行った。

【外国図-4 階開架 933.7||1343||2】

✧ [パスファインダーの凡例]

✧ 図書情報は以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

✧ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と配架場所、請求記号を記しました。

総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)

生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)

理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)

人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)

外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)

外国図-雑誌 → 直近1~2年に出版されたものは3階雑誌コーナー、バックナンバーは1階書庫

電 → 電子ジャーナル、電子ブック

※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。

✧ 検索を容易にするために、ISBN (各図書固有の識別番号) や ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合もあります。

✧ 外国学図書館を中心に紹介していますので、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LS デスクまでお尋ねください。